

「食べる」ことの大切さと、
「食べる」ために支援者が
できること

「食べる」という生活行為は、生涯に渡って様々な意味を持ちます。生きるため、楽しむため、誰かと繋がるため、文化を理解するため。

「食べる」ことは大切な「力」です。そんな「食べる力」を最大限活かすため、我々支援者が何を理解しておくべきか？

「食べる」ために人は、箸やスプーン、ナイフやフォークを使います。

しかし、日常的に当たり前に食具を使っている食事動作は、様々な要素で成り立っています。

ちよつとしたことかもしれませんが、その要素を知ることによって食べやすくなり、本人にとっての「食べる」ことの意味を見つけることができるかもしれません。

今回はその土台となる「座位」と「上肢機能」について、リハビリテーション界のスペシャリストから学びます。

「食べる力」を最大限に活かすケアやキウアを今一度見直してみませんか？



ハートケアグループメディケア・リハビリ研修会

食べる ために必要な 座位と上肢機能

2021年 3月7日 [日]

14:00 ~ 16:00

会場：WEB [Zoom]

参加費：2000円

申込締切：2021年3月6日 [土]

お申込みは下記からどうぞ！



QRコードを読みむか、URLからお申込みください。

<https://care-medi210307.peatix.com>

お問い合わせ



ハートケアグループ
NPO法人ケア・ユニゾン

大阪府藤井寺市御舟町 1-63 藤井寺オフィスビル 2 階
TEL 072-931-5511 担当：岩本・庄司

定員

100名

先着順

対象

医療・介護に携わっている方



Point

01

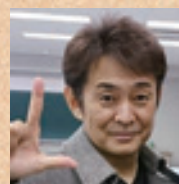
「食べる」ことを多職種で考える

02

姿勢と機能から見る食事動作



講師



Yamamoto Shinichi

山本 伸一 先生 [作業療法士]

・山梨リハビリテーション病院
リハビリテーション部副部長

・一般社団法人 日本作業療法士協会副会長

全国的にも有名なりハビリテーションのスペシャリスト。日本作業療法士協会の副会長、山梨リハビリテーション病院リハビリテーション部副部長としてもご活躍されています。多数の出版や全国各地でのセミナー講師も務め、「生活」に目を向けたリハビリテーションの知識・技術の普及に取り組んでおられます。